

## 審査会委員・関係市町・関係所属の意見等 一覧（(仮称)唐津洋上風力発電事業環境影響評価方法書について）

## &lt; その他の意見等と対応（案） &gt;

No.	ページ	委員・所属等	意見等	対応（案）
1. 連絡事項等				
1	方法書 3.1-96 (p.110) 表3.1-61	環境課	対象事業実施区域周辺には、固定型モニタリングポストが複数局存在するが、記載の3局を選んだ根拠は何か。 評価期間を平成30年としている根拠は何か。	、：固定型モニタリングポストの調査地点を矢部、京泊、玉島小学校を選択した根拠及び評価期間を平成30年の平均値とた根拠を示すように事務連絡に記載したい。 【連絡事項（1）】
2		有明海再生・自然環境課	玄海国立公園特別地域内に風況観測装置やレーダー等の工作物を設置する場合、自然公園法での許可が必要です。できるだけ早い段階で事前相談いただき、申請するようお願いいたします。	事業に協議、申請、許可又は届出等が必要な場合は、適切に行うよう事務連絡に記載したい。 【連絡事項（2）】
3		道路課	工事計画が具体的に決定した時点で、施工時期の調整や特殊車両通行許可申請等について、唐津土木事務所と必要な協議を行うこと。	事業に協議、申請、許可又は届出等が必要な場合は、適切に行うよう事務連絡に記載したい。 【連絡事項（3）】
4		唐津市	市道・法定外公共物（道路）を傷めないようにする。傷めた場合は原形復旧する。	事業に協議、申請、許可又は届出等が必要な場合は、適切に行うよう事務連絡に記載したい。 【連絡事項（4）】
5		水産課	魚類及び底生生物の調査にあたっては、漁業調整上の手続きが必要な可能性があるため、確認すること。	事業に協議、申請、許可又は届出等が必要な場合は、適切に行うよう事務連絡に記載したい。 【連絡事項（5）】
2. 誤字・表現の変更等				
6	方法書 3.1-20(p.34) 表3.1-22(1) 注2	環境課	『「m」は環境基準値を超える検体数』を 『「m」は環境基準値を超える又は下回る検体数』に修正した方がよいと考える。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
7	方法書 3.1-86 (p.100)	環境課	「対照事業実施区域」を「対象事業実施区域」に修正。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
8	方法書 3.1-89 (p.103)	環境課	「対象事業実定区域」を「対象事業実施区域」に修正。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
9	方法書 3.1-96(p.110) 表3.1-61	環境課	注の「実効線量」は「実効線量率」ではないか。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
10	方法書 3.2-49 (p.160) 7行目	環境課	【振動】 「...特定建設作業に係る騒音の規制基準は...」を「...特定建設作業に係る振動の規制基準は...」に修正すること。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
11	方法書 3.2-58 (p.169) 5行目	環境課	「形質変更時要届出区域」 「第11条第1項に基づく形質変更時要届出区域」 理由：前文の要措置区域は根拠条文が示されているが、形質変更時要届出区域は示されていないため。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】

審査会委員・関係市町・関係所属の意見等 一覧（(仮称)唐津洋上風力発電事業環境影響評価方法書について）

< その他の意見等と対応（案） >

No.	ページ	委員・所属等	意見等	対応（案）
12	方法書 3.2-74 (p.185)	河川砂防課	「国土交通省河川局」を「国土交通省水管理・国土保全局」に修正。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】
13	方法書 4.4-11 (p.202) 表4.4-4	水産課	海藻草類のエビアマモについて、ヒルムシロ科ではなくアマモ科である。また、生息環境について水深35mには生息しないと思われる。確認すること。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（2）】
14	方法書 6.1-4 (p.229) 表6.1-4 要約書 (p.10) 表4.1-1	道路課	「大気環境-騒音-建設機械の稼働」について、「 」が記載されている。 方法書本編では「 」の記載はなく、評価項目として選定されていない。	事務連絡に記載したい。 【誤字・表現の変更等（1）】